

刊夕日三十月十



発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社  
 電話 九三〇  
 郵便 常磐毎日新聞社

### 隨筆 思郷のころ

東京 木村三朗

紅い寶石をちりばめなしたる如き紅葉にうづもれる川前溪谷の緑の濁流は暗黒な死を豫想し、岩つばめ飛ぶたそがればさながらどつか南洋の別天地を聯想せしむるに充分だつた

私は秋の石城をおとづれたいと思つてゐる、田と畑と、街を――

限らないホームシックにかゝつてゐる近頃の自分の心に石城をなつかしく思はれてならない

『石城の秋』いくら書いても書きつきないほどの印象を残してゐる故郷だ  
 先程、故郷の白木英尾君とR訓導から入信があつたが田舎の秋は今寂れてゐるらしい

この都會に住んでゐると夏とか秋とかいふことが田舎に住んでゐると異つてはつきり印象されなく知らず／＼の内に秋になつたり冬になつたりしてゐる、これはとかく『都會』といふ有難いやうな有難くないやうな因果であるとおきらめられぬあきらめをもつてゐるが、とかく自然の温かさといふ事がなく、實に無味乾燥な世界である、ですから一日なりとも旅をして詩情を養ふつもりでゐる、近く『秋の鎌倉』にあそんだら何か一つ書くことにする

### 綴り方

十五夜

長瀬泰輔

「番兵、だんご、つゝかれるぞ」

と誰か、いつた僕はこのときはつとしてだんごの方へ顔をむけたと、しやうじのかげから、手が出てゐた。「まさかこゝまでだんごとりこまひ。誰かのいたずらだらう」と思つてだまつて見てゐた。果して兄がすゝきの前にあらはれた。

以上のやうな譯でつひ十日ばかり前より僕は郊外の三鷹村に居を移した  
 近頃は、原稿も書けな

### 高月會句抄 (四)

友舟を霧に相呼ぶ秋の川  
 石白々霧か生み去る秋の川  
 水濁れて石白々と秋の川  
 水音も細々として秋の川  
 亂抗にとんぼ動かぬ秋の川  
 柴をつむ馬の高鳴く秋の川  
 出洲の蘆まばらに生いてあきの川  
 神苑の籠を鏡ぐるあきの川

一夢 同亭 良亭 同果 同影 同影

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

航空思想普及 第二回 郡下模型飛行機競技大會開催  
 一、時日：来る二十五日(日曜日)午前九時より煙火合圖  
 一、會場：磐中グラウンド  
 參加者は開催前日迄に兩主催店へ御申込の上參加券を御請求願  
 ます 尚詳細は主催店に御問合せを

主催 三幸堂 樂器店  
 後援 常磐毎日新聞社  
 東京 模型飛行機 研究會

### 第一スピーカ 現出一タスエフカ

本當に感じの好い 一九三一幸型の カフエー…… スター  
 が生れました。皆様の御引立を偏に御願申上ます。

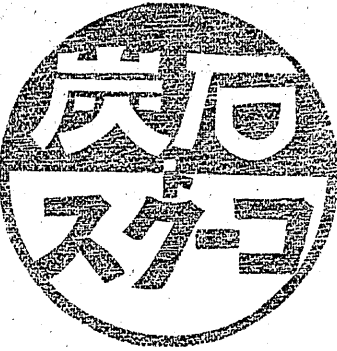
味覺の殿堂 出前迅速電話を御利用下さい

向部車動自澤芹 番七一六(呼)話電 町南町平 一タスエフカ

### 貸家

一階建(上八下、六、六、四半)公園下高臺にて夏涼しく冬頗暖し住心地、眺め共に良い住宅 御望みの方は左記へ御相談下さい 全部修善致しました 平町南町

芹澤材木店 電話四七番



ナールほど、是レハ良イ石炭ダ 良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ聞イテ居タガ! 此レ程良イ石炭トハ 思ハンカツタ 品ガ良ク 値ガ安ク 經濟的ニハ正ニ 百パーセントダ

### 阿部石炭商店

モシ〜電話二三七番デスカ 早く一俵御届ケ下サイ 平停車場前

### 藤沼醫院

内科・小兒科・花柳病科 入院需應 平町紺屋町 電話五〇七番

# 川崎知事自ら 總裁就任快諾

## 副總裁は池田内務部長 博覽會役員の陣容

明春四月平町を擧げて花の街、光の街、産業の街と化すべき昭和産業博覽會の準備は今や着々と進捗し全國各府縣へ向けて出品勧誘をなすつゝあるが去る

十二日の委員協議會において決定した如く川崎本縣知事・池田内務部長・酒井農務、野上商工兩課長等を顧問、正副總裁に推戴し大いに地方産業開發に資すべく井上、野崎兩縣議が夫々出福し川崎知事を訪れて協議する處あつたが同知事は「この不況時に斯くの如き計畫あるは誠に壯とすべし」と自ら總裁就任を發議し、役員顔觸れ

## 好成績

### 水害の補ひに 郡農會で獎勵

二毛作 數年前より平町小賣商人間に物議の種をまいてゐた鐵道省水戸購買部平出張所の廢止運動は最近またもや擡頭し平商工會を動かして平町から斷然驅逐すべしとの計畫があるが之は鐵道從業員中に個人的關係から局外者にまで購買部の配給品を

## 驅逐運動

### 實現は疑問 小賣商人間に擡頭

全力を擧げてゐることは既報の如くであるが目下紫雲英は蒔付終了し昨年の二割増の有様で殊に菜種に至つては昨年は三町歩足らずのものが本年は一躍百町歩を突破する見込である尙二毛作として主位を占めてゐる麥は蒔付季を控へて此の作付反別は昨年の三百十九町歩よりも一二割増加する見込でいづれも非常な好成績を示してゐる

## 濱三郡

### 町村自治講習會 來月九、十日

### 富岡公會堂に

福島縣町村長會では今回縣内各地に町村自治の徹底を期する爲め講習會を開催するが渡邊地方では來月九、十の兩日双葉郡富岡町公會堂にて開催する事になつたので町村長會石城支會からも多數出席する模様である

## 大野村長決定

### 吉田氏當選す

石城郡大野村長中野幸平氏辭任による後任村長選舉のころから「つき!は、むじよう」といふ!けれえどオ……」のいと悲しきナンセンスにまで聲樂家の銀聲がころがる

## 教育石城部會

### 來月八日總會

石城教育部會では十一月八日午前九時より平第一小學校に於いて秋期總會を開き左の事項を協議すると

## 水害豫防組合

### 二十七日總會

平町外二ヶ村水害豫防組合では來る廿七日午前十時より平第一小學校に、秋期組合會を開催し左の事項を協議する筈

## 滿洲駐屯兵

### (一)

井次安 豐間山野邊秀吉 勿來町安島春雄 入遠野 綠川泰雄 山田澤田基助 好間木田彌之助 豐間鈴 木庄松 平猪狩數三 磐崎橋本八百治 赤井大平 孝内 澤渡田子忠治 江名中田七造 植田國兼正 勝 玉川山野邊清 上遠野 野松本秀之輔 勿來小張 勇次郎 植田佐藤善枝 平藤川慶一 高久志賀武 弘 渡邊鈴木定雄 神谷 鈴木良光 湯本伊藤利雄 三坂大竹光易 赤井鎌倉 晰吉 夏井鶴沼正 下小川草野忠 上遠野山野英 一 平窪矢吹一夫 植田

## 往來

下山田勝 植田瀬谷勉 下小川箱崎慶三郎 三坂大竹清 植田大竹百次 磐崎大井川重雄 夏井渡邊正 上遠野上遠野好行 平窪丹野甚平 川前根本 倉太 平深谷四三郎

## 平町人事

### 結婚

△那馬縣佐波郡島村醫師 田島吉郎 (二九) 平町掘堀小路一 江口光子 (三四)

### 回死

△番匠町二九 馬場智子 △掘堀小路三二 佐藤タイ

## 秋十月

## 月見トピック

### 青い光を浴びて

### 今宵はのちの月

こよひは陰曆九月の十三日、後の月が煌々と昇えて「數行過雁月三更」の名吟を誰か、遙かに唄ひつゝ行くのを聞く、秋の夜空はあまりに寒く澄んでゐる、さやかにさらめく銀河の流れがあたかも天の秘めごとを語るやうだ、街の若い人々

月見トピックA

「どお? ウサギ、見へて? 判る?」

「ウサギぢやないよ、そんなよかき、」つきの「さばくを! は! は! は!」のいとも高尚なと

月見トピックB

湯上りのほのかな匂をつゝんで縁に立つ街の少女のなよかき、

「この月だよ」

「日本の、熱海の、……アッ、月は雲隠れだ、お前、宮さん、月の出るまで待ちなはんせ」

## 今日の話

フランスのマルセーユ人の、何事も誇しい癖は、世界で有名なものとされてゐるので、その見本をこゝに示すと、或るマルセーユ人がこんなことをいつたものだ。僕はいつぞや印度に旅行して、友達の家泊つたがね、その時友達がおい君朝飯前にこの鐵砲を持つて何か撃つて來ないか、ついでいふもんだから、ようしといふんで僕は早速出かけたものだ。それが又狙ひを定めてポン! と撃つたら、忽ち象を二頭射止めてしまつたんだ。めめたと思つて、小躍りして僕は駆けつけたね。すると不思議さ、確かに斃れた筈の雌象が見當らぬのさ。ハテと思つて探して見るとね、奴さん鐵砲の音に肝を冷やして、土の中に潜り込んでしまつてゐるんだ。うん、雄象の方はこりや譯はなかつたよ。連れてつた犬が、ちやんと銜へて來たからね。」

# 福島茨城二縣に亘る

## 自轉車賊遂に捕はる

### 犯件無慮二百に達せん 怪盜の命數こゝに盡く

本年春以來平町を中心に内郷、湯本等の各方面を股にかけ自轉車専門の怪盜が出現し殊に去月下旬より今月上旬にかけては頻々と犯行激増し其筋では

躍氣となつて犯人逮捕につとめたが犯人は常に通り魔の如く出沒自在を極めたのでさながら無警察状態の如き觀を呈したが昨十二日午後六時頃平町四軒町丹後澤附近において職人風の若者が

兩手に自轉車を擁へて行くのを密行中の平署員が追跡取押へ嚴重に取調た結果同人は茨城縣筑波郡吉沼村大字大砂四生れ住所不定大工職中山安太郎(三)で遂に前記出沒自在の自轉車賊であることを自白したが同人は本年四月廿六日平署前遠藤パン店の自轉車を窃取茨城縣で賣拂つた事に味を占め從來今日迄平を

### 就職難で 後家さん 家出

愛児の前途を悩み石城郡小名濱町字上明神町柿本元之助の妹サヨ(三)は最近夫と死別し前記兄弟で世話を受けて居たが子供の前途を思ひ一定の職業に就かうと各方面へ運動したが不景氣な昨今の事として仲々見付からず廿日夜無断にて兄弟を家出し行衛を晦ましたが同人

### 平商体育デー 平商

業學校では来る十一月三日を中心として行はれる第八回体育デーに際し全校生徒を左の各種競技に分割して生徒間の大競技會を催すと△二日三日野球△四日武道△五日庭球弓道△六日陸上競技

### 町の書店に現れた

## 軍國日本の秋

### 滿蒙物全盛時代

#### 滿洲事變の反映雜觀

滿洲事變が平町の街頭に如何に反映したか——まづこの最初の探究の眼を町一流の書店に向ける、ぎつしり新刊物の陳列された書架の中に殊に

### 眼立つて殖えたのは

時局ものである、その中でもガツテリした存在を示してゐるのは滿蒙問題を中心とした書名である

- 挑むアメリカ 福永恭助
- 現代米國論 鶴見祐輔
- 日米果して戦ふか
- 海軍少佐 石丸藤太
- 滿洲とはどんな所か 杉本文雄
- 動く滿蒙 松岡洋右
- 動亂支那の真相長野 朗
- 支那は立上る 室伏高信
- 滿蒙の重大化と實力發動 細野繁勝

戦はこれからだ櫻井忠温 打倒日本 保々隆英 東亞全局の動搖松岡洋右 滿洲土産談 川崎小鳥 轉換期の日本 清澤 洲 沈滯日本の更生中野正剛 世界の動きと日本の立場 本多熊太郎

等ざらりと並べられて書店の中に滿蒙オンパレードの觀をみせてゐるがこれらの

時局物を前にしてマ ルトモの柴田氏は語る

「驚きましたなア、時節柄とは云へ、地方人の讀書力がこゝに至つたとは流石軍國日本だけあつて愉快です、どれも一角の賣行を示してゐますが殊に櫻井さんの『戦はこれからだ』が出た時は正に疾風の暴風の賣行です、見逃せないのは東京日日の徳富さんが一度批評を書くとそれが直ちに賣れ

てますが、あの批評が斯うも讀者に響くかと思ふと蘇峯未だ老いずすなア」と高らかに笑つた

### 藝妓にお灸

石城郡磐崎村大字下湯谷字勝膳三三生れ大平ミサ(三)は田村郡小野新町磐城屋本店方に抱藝妓となつて住込中無届けで再三郡山市の情夫のもとに外泊したことが判り郡山署で拘留五日に處せられたがその儘行衛を晦ましてしまつたのを搜索の結果同市堤下材木商土屋茂

**明日のラジオ**  
二十四日  
放送台

報豫氣天  
今晚は北西の風 曇り明日は北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部  
後六、〇〇 お話「牛」長崎 村重友  
後六、三〇 英語講座「初等科」一八 村岡博  
後七、三〇 特別講座「秋の天体觀測」二山本一清  
後八、〇〇 獨唱と合唱「夜」外 仙臺オラトリオ 協會

明日の部  
前九、一〇 料理献立「さつま芋の竹輪」一田毎の月  
前一〇、三〇 家庭講座「和服裁縫のきめどころ」(二)河北鮎子  
後九、〇〇 五映畫物語「裏切られた秋太郎」雲井天

明日  
後二、二〇 運動競技「野球リーグ戦」慶法一回戦  
後六、〇〇 一、童話「清坊と三吉」豊島しづ子  
二、童話(齊唱)千種鶯啼會員 三、獨唱 藤原光一郎  
後六、三〇 英語講座「中等科」第三講の五 勝侯詮吉郎  
後七、三〇 特別講座「秋の天体觀測」(三)山本一清  
後八、〇〇 ピアノトリオ 風一筆 佐々木松波 同 太田波穂 外  
後九、〇〇 連續浪花節「畔倉重四郎」第三席(終) 木村重友

### 危い日本語で 北海道から

昨夜九時頃またも平署人事相談所へルンペンが尋ね何か願ふらしいが同人は日本語も満足に話せぬ朝鮮生れの者なので係官も手古摺つた揚句筆談を以つて漸やく朝鮮南道平同郡龍岳面村元里生れの柳基福(三)である

### 内郷村でも 模型機競技

石城郡内郷村模型飛行機研究会では来月八日同村高坂グラウンドにて模型機競技大會を開催すると

### 白晝、空巢覗ひ

現金や金時計を窃取 犯人は未だ捕はれず  
判り昨日其筋へ訴へ出たが大膽にも白晝公然と忍入つた手口からみて單なる空巢覗ともみられず目下この種のコソ泥が各町村に頻々とある際なので其筋では全力

### 平和麻雀開業 披露競技大會

平町新田町平和麻雀クラブでは明二十四日午後五時から同町三益において開業披露の大會を開くが會費は三十錢(夕食付)賞品は一等より十等までであると

### 新運轉手へ 免許送付

既報本 月一日より行はれた自動車運轉手試験合格者は既記の如くであるが本日平署へ免許送付された

# 七色紙

【載轉禁】

渡邊默禪作  
布施平八郎畫

櫻散る夜 (11)

彼はしばらく恍惚とした心もちでその香に酔つてゐるうちに、彼女とのなかに起つたさまじいことを憶ひ出した。悲しかったこと嬉しかったこと、過去二年あまりの戀のローマンスが映畫のやうに回轉して急速に頭腦のなかを掠め去つた。

「歸らう、いつまでもこんなところに居られない、斷然歸るとしやう、そして歌治に一言訛をしなければならぬ。然う／＼このカンザシが若しも他の奴に拾はれたらもう戻りつこはないのだ。それが俺の手に入つたんだから妙だ、つまり盡きせぬ縁が縁とでもいふのかな、これ返してやらう」  
彼は俄かに里心がついた、何といふことなしに家に歸りたくなつた。手にしたカンザシを出しては見たが再び大切そうにかくしに入れて三足ばかり歩きかけてから、ふと立停つた。  
「だが待て、歸るには歸るやうにしなけりやならぬ。この俱樂部の勘定はいくらだったかな。然うだ昨日請求された調書にはたしか千七百圓と書いてあつたやう

だ。そこで川島に三千圓だけ届けろと云つてやつたのが、只た五百圓だけしか高野に持たして寄越さなかつた。その五百圓もあのヨフラマが取上げつちまつて私の祝儀よなんて言つてやつたから、容易なことぢや



吐き出しさうもない。こいつあ一番困つたことになつたもんだが……貸してくれと談判したところで、昨日の權幕ぢやアあの主婦が承知しさうもないさア何としたものだらう。」  
彼の心は再び悩み始めた、が。裏口の階段まで下るま

とする氣配だつた。彼はハツと思ひながら上衣と外套とそれから帽子とを小脇に抱へてこのそりとカーテンの蔭に隠れたヨフラマは夢見たやうにむく／＼と起き返つていきなりがぶ／＼と一杯の水をあふつたそして目を摩つてぞつとぼんやりした眼で室内を見廻したが直とまたそのまゝ、ベットの

に倒れた。彼は機會を促へることを忘れなかつた。半分ばかり開いてゐた扉のところからひらりと廊下へとびだした。と。其刹那、突然ヨフラマは跳起きて叫んだ。  
「あら、泥棒！泥棒！」  
急いで室内にとりつけた警報機の呼鈴を鳴らした。  
「誰れか来て下さい、泥棒よ、泥棒がでて往つた、来て下さい。」  
と今度は大聲に叫んだ。

と衣裳を着換へはじめた。ワイシャツの上に脊廣のズボンを着けて、それから上着に手を通さうといふ時にヨフラマはばたきと寝返り打つたやがてむく／＼と身動きした、そして右の手を伸ばして寝床の横にあるスタンドの上から水を取らう

御用命は印刷物の總代理  
常警日印刷株式會社  
電話三六〇番

各種  
電氣  
器具  
修理  
電話  
三〇番

井の  
商品切手  
番 八四  
三二  
不三電

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎巡  
回文庫  
電六三〇番  
（申込次第規則書進呈）

高久病院  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五一三番  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

時計の  
修繕なら……半額  
平驛前通り 星野時計店へ  
◇時計、眼鏡廉賣店  
◇硝子入無料券進呈

子宮病血の道の方は左記の良藥をお用  
えになればラクに自宅で退治出来ます  
子宮温湯  
腰部をアタ、メ  
子宮病を治す  
美神湯  
服藥血の道藥  
子宮座  
BISHINGAN  
美神丸  
平町古鍛冶町  
一手  
阿康藥舖  
特約店  
電話四四番

外科 X 光線科  
性病科  
科 科  
安齊外科醫院  
平町田町  
電話四七五番

新趣に輝き  
實價を誇る  
各種  
運動  
具裝  
大廉賣  
平町田町  
大運動具店  
電話七七番